



令和3年度学校だより

11月1日

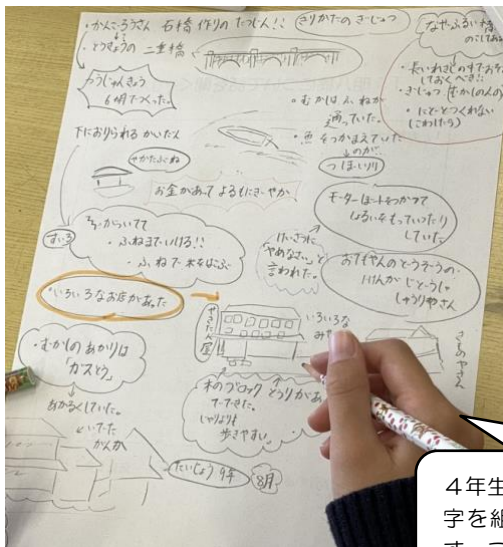
五福校 ごふくこう

No92

文責 本田

4年生・・・明八橋のことを高畠さんから学びました。

先週金曜日、4年生がゲストティーチャーとして、毎日の登下校の見守りでもお世話になっている高畠啓道さんをお迎えして明八橋や五福の歴史について学びました。高畠さんは五福の町のすり鉢舞い総踊りの作曲をされた方です。4年生は見学旅行で通潤橋に行くことになっていますがこれにも大きくつながる学習です。地元こんな素晴らしい教材があるってすごいことです。明八橋が明治8年にできたから明八橋というくらいはわかっても、詳しいことは大人でもよく知らないのが現実です。（ちなみに明治8年は五福小学校の開校の年でもあり現在146年になります。）子どもたちの疑問は・・・「なぜ石で作ったの?」「何のための橋?」「なんでアーチ型」「熊本城の石垣の技術が使われているの?」「どうして通潤橋と似ているの?」など写真を詳しく見て「見えたこと→思ったこと→自分が引くこと」という順番で疑問をまとめてきました。高畠さんからは、明八橋が新町と細工町唐人町を結ぶために作られたこと、前は木の橋だったけど大雨等で流されないように石橋にしたこと、作った石工は東京の二重橋や日本橋、熊本の通潤橋や霊台橋を架けた名工、橋本勘五郎ということ、下に降りられる階段は昔はいろいろなお店があって川には船でお米などの物資を運ぶために使っていたこと、唐人町の通りは木製レンガで作ってあり歩きやすいようにしてあったことなど、子どもたちの疑問に対してわかりやすく解説していただきました。僕も一緒に来ていたのですがどんどん引き込まれていきました。これから4年生の社会や総合の学習が楽しみです。



貴重な資料や写真をもとに解説いただきました。準備がとても大変だったと思います。

4年生のメモのとり方に感動しました。みんな絵と文字を組み合わせてメモをとっていて本当にすごいです。これは必ず将来生きていきます。



すり鉢舞いを作曲された当時の高畠さん

2年生が作った芋は今度給食に使います。楽しみです。

先日2年生が自分たちで植えたさつまいもの収穫を行いました。大きく育てるのは難しかったのですが、取れた分は今度給食でお芋を使ったメニューの時に使うことにしています。いつ2年生が作ったお芋が出るか楽しみにしててください。

